

平成30年度 第2回明野地域委員会会議録

- 1 会議名 平成30年度 第2回明野地域委員会
- 2 開催日時 平成30年11月22日（木曜日）
午後1時00分開会～午後3時00分閉会
- 3 開催場所 明野総合支所 2階 大会議室
- 4 出席委員 五十嵐咲子・三井一男・清水真理子・三井弘文・小泉真・篠原泰雄・嶋津英樹・丸山明・雨宮智博
事務局 明野総合支所長 清水 能行
地域市民課市民担当 土屋 直己
- 5 議 題 (1) 平成30年度明野地域委員会予算使途提案事業進捗について
(2) 平成31年度明野地域委員会予算使途提案事業予算について
(3) その他
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人数 0人

8 審議内容

(議 長) 会議録署名委員に 小泉真委員、三井弘文委員 2名を指名します。

(1) 平成30年度明野地域委員会予算使途提案事業進捗について

(議 長) 平成30年度明野地域委員会予算使途提案事業実績について議題とします。事務局から説明を求めます。

(事務局) 平成30年度明野地域委員会予算使途提案事業実績について、資料に基づき説明。

(議 長) 事務局より平成30年度明野地域委員会予算使途提案事業実績について説明がありました。ご意見ありますか。

(委 員) 安全パトロール事業の話があったが、明野町内に浮浪者がいる。悪い事はしてないと思うが、自動販売機のゴミをあさったり、つり銭を覗いたり住民が不安がる話があった。民生委員も含め、見守りが重要だと改めて感じた。警察も把握しているようではあるが。

(委 員) 国道を歩いている人とは違う？

(委 員) その人とは違う。葦崎の方面から来て明野小中学校周辺を歩き、葦崎方面へ帰る。

(事務局) 市としても、その方は確認しており警察にも連絡している。警察も把握はしていると思うが、今のところ警察からの連絡は特にない。

(委 員) 歩く為の目的はないのか？

(委 員) 健康の為に聞いているが、身なりが汚く怪しいと思われるのは仕方ないと思う。そういう方がいることを皆さん知ってほしい。

(議 長) 皆さんそういう方がいることを承知しておいてください。また何かあれば市の方へ連絡をお願いします。それ以外に何かありますか。

(委 員) 除草作業事業については、全て終了しているか。事業費104万円に対して、進捗が9万3,600円だがこの差は。

(事務局) 事業費を104万計上したが、委託料は9万3,600円。全て事業は終了した。

(委 員) この差額についての不要額は、別の事業に流用することはあるのか。

(事務局) 例年、このような不要額が発生した場合は、除雪事業に流用している。今年度降雪があるかないかまだわからないところではあるが、昨年度は流用し、除雪事業として活用している。

(委 員) 茅ヶ嶺太鼓への補助金が、9万円に対し6万円となっているがこれはどのような理由か。

(事務局) 様々なイベント等への出演により、ある一定の収入があると聞いている。また、ダイコン祭りや納涼まつりでも、出演を依頼し、出演料を支払い支援している。ゆえに今年度は6万円とした。

(委 員) 今年の台風の被害はどうだったか。

(事務局) 明野町内でも被害が発生した。一番多かったのが倒木。町内でも何か所もあり職員が対応できるものは処理した。農業被害については、下神取地区及び浅原財産区管理の田畑の畦畔(けいはん)が崩れる被害があった。電線にかかる倒木は、東電の管轄となるので、市としては処理できない。電線が絡む倒木が多く明野地区においては、停電も発生していた状況。

- (委員) 倒木が多かった。道路に倒れる木は早く処理されたようだが、その処理する基準はあるのか。
- (事務局) 基本的には、個人の財産ではあるが、道路通行に支障を来たすもの、また危険の可能性のあるものについては、個人財産でも伐採している。市からも広報等を通じて、山林等の管理をお願いしているところ。万が一、事故が発生した場合は重大な事件になる可能性もあるので、しっかりと管理をお願いしたい。
- (委員) 私有地に危険性のある木については、隣の土地でも伐採のお願い、依頼ができると聞いたが。
- (委員) 地主の責任で隣の土地に被害を及ぼした場合は、その地主の責任となる。
- (事務局) 基本は個人の財産であることから、地主の責任となる。今後、山林等所有者が不明瞭な場所が増加傾向にある。道路については、通行に際し支障がある箇所は、市が処理している。山林の管理については、樹種転換等造林に対する補助等もあるので、所有者には適切な管理をお願いしたい。
- (委員) そういう倒木の処理費等は、どういう予算を利用しているのかと思った。通学路等の倒木について「安全を確保」という意味で、除雪事業と同様に、地域委員会予算の中で確保できないのか。支所の予算で、倒木は片付けているようだが。
- (事務局) 実際、倒木の案件が増えてきている。昨年度から「地域課題早期対応事業」があり、約1千万円明野町に配分されている。台風により被害案件についても、この予算を活用している。故に地域委員会の中で予算を計上しなくても大丈夫かと考える。ただ、市が所有する土地や緊急の対応は可能であるが、個人の所有地のものを処理する事は不可能。これらは、地区で話し合いを実施し解決することが多い。
- (委員) 土地の所有者がわからない場合、市で教えて欲しいと尋ねたところ、教えられないと言われた。それはその通りか。
- (事務局) その通り、現状では法務局をご案内している。それ以上は教えることはできないので、地区の方に聞いてみてはと案内している。
- (委員) 道路に倒木した場合は、所有者を調べる余裕はないと思うがどうしているか。
- (事務局) 緊急案件として、所有者は調べず伐採し、片付けている。
- (委員) 太陽光発電施設に倒木があり、賠償金を払ったという事例も聞いている。
- (議長) それぞれの意見があるようだが、それぞれの案件について理解していただければと考える。平成30年度進捗状況については、よろしいか。
- (委員) 意義なし

(2) 平成31年度明野地域委員会予算使途提案事業予算について

(議長) 次に平成31年度明野地域委員会予算使途提案事業予算について議題とします。事務局から説明を求めます。

(事務局) 平成31年度明野地域委員会予算使途提案事業予算について資料に基づき説明。

(議長) 事務局より平成31年度明野地域委員会予算使途提案事業予算の説明がありました。具体的な内容については、平成30年度とほぼ同様で概ね事業の継続です。ご意見ありますか。

(委員) 明野神楽保存支援事業について、7地区で実施している。補助金が減少となっているようだが、事業としては積極的に実施している。細々となっている地区もあるが。

(事務局) 今年度の実績をみながら変更する。

(委員) 予算的には、主に何に活用しているのか。

(委員) 神楽はそれぞれの地区で踊り方が全く違う。年1回勉強会という形で、先生を招き演じてもらっている。それが大きな事業。

(事務局) 明野総合会館で年1回明野町全体の神楽を集めた事業を実施している。又各地区の神楽へ補助している。

(委員) その各地区への補助への内容は。

(事務局) 各地区補助の使用用途はわからない。昨年度「玉串料」などは、補助対象外と修正をしたところ。また、各地区への補助は、衣装の借り上げ料となっている。領収書はついてはいるが、何に使用しているのかはわからない状況。3万円である根拠もわからないので、精査させていただき、減額としたところ。

(委員) 借り上げ料の内容は、クリーニング代では。

(委員) クリーニング代であれば、クリーニング代として計上すれば問題ないのでは。

(委員) 本当に必要の予算であれば、昨年以上の予算を増やせば良いし、無駄であれば減らせば良いと考える。

(委員) 他の団体も含め、補助金で全てを賄っていないと考える。全て補助金で成り立つ事はないのでは。

(委員) 飲み食いに補助金を利用してはダメと言われるが、多少は良いのでは。自己資金を利用すれば良いのでは。

(事務局) 基本的にはお茶代のみが認められる。

(委員) 弁当くらいは良しとして、金額の上限を決めるのが良いと考えるが。

(委員) 実際は、弁当にもならず、他のところに予算を利用し厳しいのでは。

(委員) 公金だから仕方ない。

(事務局) 弁当は、完全に否定はしないが、他の団体については、補助金が年々減る中、工面している状況にあると考える。故に飲み食いに利用する補助金があるのであれば、他の団体を増額したいという考えもある。

(委員) 実績報告書をみながら、事務局で判断してもらうしかない、昔とは違う。誰が見ても納得できる内容にしておけば良いと思う。

(議長) 様々な意見ありがとうございました。実績については、しっかり精査していただきたい
と思います。その他何かありますか。

(委員) 地域間交流事業について、市民の参加を募ると書いてあるが、明野町外の人も行けるの
か。

(事務局) 北杜市民への参加募集となっているが、明野地域委員会予算であるので明野町には集中
的に周知している。

(委員) 北杜市がいろんな他市と交流しているというのを先日の市政報告会で知った。この事業
が復活しとても良い事だと感じた。もっと他の市と交流していることを広く周知した方が
良いと考える。それぞれの市と交流を深めて欲しいと思う。

(事務局) 袋井市との交流を復活して2年目となる。明野村時代は互いに熱心に交流した話を伺っ
た。今年度の訪問については、市長公室より室長、危機管理室より課長と担当者が、市民に
対し説明していただけるなど、袋井市からも多大なおもてなしを受けた。市内でも様々な
交流をしているが、市民を募って訪問しているのは、明野町だけ。須玉町は西東京市、高
根町は羽村市、長坂町に新宿区の保養所があることから、新宿区。また、白州町は東村山
市と交流している。他に八ヶ岳に保養所があることから、日野市、荒川区とも関係がある。
また国外にはアメリカ、韓国抱川市と交流している。来年2、3月それらの交流を市民に
広く周知するため広報への掲載を予定している。しかしながら、どの市も財政的に中々厳
しいときいており、人的な交流のみでなく、「災害協定」など時代に合わせた新たな交流
も生まれ始めている。今週末、袋井市から市民30名程度が清里に来る予定。袋井市とは
徐々に交流が盛んになってきていると考える。

(委員) 羽村の保養所や、荒川区の施設等北杜市民であれば優先に利用できる話が昔あったが、
今はどうなのか。

(委員) 今も羽村市保養所は、北杜市民の料金設定がある。

(議長) いずれも旧町村時代に残した大切なもので、継続して行って欲しいと考える。その他な
ければ、平成31年度明野地域委員会予算についてはこのとおりでよろしいか。

(委員) 意義なし

(3) その他

(議長) その他ですが、何かありますか。事務局で何かありますか。

(事務局) ある。市政報告会のあり方、実施方法等について、26日(月曜日)の「地域委員会連
絡会」の中で、話があると思う。また今後皆様に意見を伺う機会があると思うが、検討し
ていただきたい。

(委員) 各町の地域委員は参加しているが、一般の市民へ周知はしているのか。

(委員) 旧町村時代のほうが、行政が近く行政が実施している施策等もなんとなく知っていた。
北杜市となり施策等の情報を身近に感じられない中、市政報告会に参加するといろいろ知
る事はできる。ただ、行った人はそれなりに関心がある方だから、質問等もしたいと考え

る。しかしながら、あの場での質問はできない。故にそんな時間もないかもしれないが、旧町村をまわる方法も良いかも。

(事務局) 確か合併直後は、市長が各町をまわる取組みもあった。

(委員) 住民の意識が市政に対して遠くなってきた。その意識を高めることが重要では。明野町の人には特に北杜市に愛着が薄れていると感じる。それを執行側で何かしなければならないと考える。

(委員) 市政報告会の目的は？

(事務局) 直近の市政の報告する会。予算、施策、行事等について

(委員) それは議会では？あの場で、質問を受け付けることもあるが、それは議会の場で十分論議されているのではないか。

(委員) 一つの方法として、1年間に8町巡回することはできないか。時期がずれても。

(事務局) 議会後をメインに年4回実施することが決まっている。なかなか難しいと思うが。

(委員) 市政を広く知らせたいのか、人を集めたいのか。方法は目的による。広く知らせたいなら、インターネットやホームページ等を活用するのが良い。北杜市議会中継の様なやり方も良いのでは。一箇所に集めるのは今の時代なかなか難しい。集めるには何かしらイベント的な事を実施しなければならない。

(委員) 防災訓練についてもそうだが、マンネリ化になっている。マンネリ化では人は集まらない。市がしっかりとそれぞれの事業を考え、実施することが重要。

(委員) 他の行事もそうだが、市民のための行事となっていない気がする。

(議長) それでは、また地域連絡会で詳細の案内があり次第、再度皆さんにご案内いたします。

(委員) 市政報告会を何の為に実施しているか、再度事務局側で確認して欲しい。問う場合はしっかりとした説明ができるように。

(議長) 他に何かありますか。それではこれで議事を終了します。

以上会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成30年 月 日

明野地域委員長 _____

会議録署名委員 _____

会議録署名委員 _____